

建築学科

科目一覧&シラバス

建築学科履修科目一覧表

	科 目	1年次		2年次		合計	担当	実務経験のある教員等による授業
		前期	後期	前期	後期			
建築士法による指定科目	① 建築製図	6				6	久坂和之・福田康紀・山越衛	○
	設計演習Ⅰ		6			6	久坂和之・松田一希・山越衛	○
	設計演習Ⅱ			6		6	久坂和之・松田一希・山越衛	○
	生産設計			3	3	6	谷國久	○
	② 建築計画Ⅰ	3	3			6	山越衛	○
	建築計画Ⅱ			2	2	4	山越衛	○
	建築計画Ⅲ			2	2	4	和田吉史	○
	建築史	2				2	西和人	○
	③ 建築環境	1	1			2	北崎勝弘	○
	④ 建築設備	1	1			2	北崎勝弘	○
	⑤ 構造力学	3	3			6	小酒正明	○
	構造力学演習			2	2	4	胡桃英章	○
	⑥ 建築一般構造	2	2			4	小酒正明	○
	木構造			4	4	8	高木功介	○
	構造設計			3	3	6	川端大雅	○
	⑦ 建築材料	1	1			2	北崎勝弘	○
	⑧ 建築施工Ⅰ	1	1			2	小酒正明	○
	建築施工Ⅱ			2	2	4	小酒正明	○
	建築積算			1	1	2	小酒正明	○
	⑨ 建築法規基礎	1	1			2	高木功介	○
	建築法規			2	2	4	胡桃英章	○
	測量	2	2			4	尾山清光	○
	デザイン史		2			2	西和人	○
	JWCAD	2	2			4	高木功介	○
	住空間				3	3	大谷治代	○
	商空間				3	3	大谷治代	○
	小計	25	25	27	27	104		
指定科目以外	造形演習	2	2			4	加藤則子	○
	デッサン	2	2			4	小西美樹子	○
	プレゼンテーション	2	2			4	白井慎太郎	○
	ビジネストレaining	1	1			2	掛場泰行	○
	ビジネスセミナー		1			1	招待講師	○
	3D造形	3	3			6	酒井知代	○
	インテリア設計			6		6	大谷治代	○
	3D設計			2	2	4	吉村寿博・山越衛	○
	住空間デザイン			2	2	4	村梶招子・西出雅史	○
	卒業設計				6	6	久坂和之・松田一希・山越衛	○
	小計	10	11	10	10	41		
合計		35	36	37	37	145		
実務経験のある教員等による授業単位数合計		35	36	37	37	145		2,175単位時間

* 表中の数字は単位数(50分授業を15週で1単位)

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築製図			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	久坂 和之 福田 康紀 山越 衛		使用テキスト		建築デザイン製図 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	製図板と丁定規を使いきれいな線を早く正しく書けるように練習する。又、線の種類と使い分けを正しく理解し自分の考える事柄を図面化できるように訓練する。						
授業計画	4月	線と文字の練習、表示記号					
	5月	小住宅トレース 配置平面図、立面図、断面図					
	6月	2階建木造住宅トレース 配置平面図、立面図、断面図					
	7月	小住宅設計 配置平面図、立面図、断面図、模型					
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	設計演習 I			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	久坂 和之 松田 一希 山越 衛		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	木造在来工法の住宅設計の計画から作図、模型制作およびプレゼンテーションまでの基本を学ぶ。 課題2を進級課題と位置し卒業展会場にて発表を行う						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	課題1	2階建て住宅	計画			
	11月	課題1	2階建て住宅	図面、模型			
	12月	課題2	店舗併用住宅	計画			
	1月	課題2	店舗併用住宅	図面、模型			
2月							
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	設計演習Ⅱ			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	久坂 和之 松田 一希 山越 衛		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	鉄筋コンクリート造、鉄骨造の小規模な建築の課題を構造を注意して設計し最終課題の卒業設計に備える。またコンペを通して、地域性や条件を満たし、設計コンセプトなどもしっかりとした設計ができるようにする。						
授業計画	4月	課題1 公園休憩所 計画					
	5月	課題1 公園休憩所 図面、模型					
	6月	課題2 北陸の家づくりコンペ 計画					
	7月	課題2 北陸の家づくりコンペ 図面、模型					
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科		学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	生産設計		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数		90
担当教員	谷 國久		使用テキスト	初めて学ぶ建築実務テキスト建築施工図 市ヶ谷出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上					
授業概要 および 学習目標	設計は絵に描いた餅になってはならない。設計図書を確実に 理解し施工図を作成、現場作業を進める事の説明を行う。					
授 業 計 画	4月	RC造建物のプリント配布。部分詳細、施工図全般の説明。 RC造建物の平面詳細図,CADで作成。				
	5月	RC造建物の断面詳細図,CADで作成。				
	6月	RC造建物のコンクリート矩体図の説明、作成。 RC造建物のコンクリート矩体図、CADで作成。				
	7月	外壁タイル割付け図の説明、タイル割付け図の作成。 天井割付け図の説明、天井割付け図の作成。				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	S造建物のプリント配布。部分詳細、施工図全般の説明。 S造建物の平面詳細図,CADで作成。				
	11月	S造建物の断面詳細図,CADで作成。				
	12月	RC造住宅の計画。平詳と断詳、立面の作成。				
	1月	〃				
	2月	〃				
	3月					
成績評価	課題提出による					
その他						

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築計画 I			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	山越 衛		使用テキスト		住まいの建築計画 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	建築を計画するに当たっての基本的な考え方や、方法を学び各教科(構造・設備・法規等)の融合を図り1つの形となる住宅を設計できるようにする。						
授業計画	4月	序章 住まいを知る (尺貫法、在来工法、工事の流れ)					
	5月	1章 プランニングの前に知っておきたいこと (快適な空間を作る)					
	6月	1章 プランニングの前に知っておきたいこと (単位空間)					
	7月	1章 プランニングの前に知っておきたいこと (単位空間)					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	1章 プランニングの前に知っておきたいこと (バリアフリー)					
	11月	1章 プランニングの前に知っておきたいこと (木造の仕組み)					
	12月	2章 プランニング (敷地条件、配置計画、ゾーニング、立面計画)					
	1月	3章 プランニングするときに確認すること (法規、構造、予算)					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験、課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	建築計画Ⅱ			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	山越 衛		使用テキスト		初学者の建築講座 建築計画 市ヶ谷出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	各種建築についてあらましを説明する。 設計演習課題に向けての基礎的な知識と、疑問をサポートする。						
授業計画	4月	第1章 計画と設計 第2章 居住施設の計画					
	5月	第3章 学校教育施設					
	6月	第4章 社会教育施設					
	7月	第5章 医療施設・福祉施設					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	第6章 商業施設					
	11月	第7章 外部空間 第8章 自然現象、建築、知覚					
	12月						
	1月	機能図・配置、平面計画 建築基準法チェックシート・構造チェックシート・設備チェックシート 設備チェックシート					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験、課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	建築計画Ⅲ			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	和田 吉史		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験25年以上						
授業概要 および 学習目標	1年時は戸建住宅を中心に計画を学んだが2年時は集合住宅、事務所ビルを中心に実践を踏まえて学ぶ。						
授業計画	4月	集合住宅(歴史、種類、配置・住戸計画)					
	5月	集合住宅(構造・設備計画、避難・防災計画、各部・共用の計画)					
	6月	集合住宅の計画					
	7月	集合住宅の計画					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	事務所ビル(歴史、種類、配置・住戸計画)					
	11月	事務所ビル(構造・設備計画、事務空間 基準階、デスクレイアウト 特殊階の平面計画・共用空間)					
	12月	事務所ビルの計画					
	1月	事務所ビルの計画					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験、課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築史			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	西 和人		使用テキスト		カラー版図説建築の歴史西洋・日本・近代学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験15年以上						
授業概要 および 学習目標	現在と過去の関係、歴史を通して意匠、価値観の創造を図る。						
授業計画	4月	古代オリエント・エジプト・ギリシャ・ローマ建築 ロマネスク・ゴシック建築					
	5月	ルネサンス・バロック建築 ロココ・ネオクラシック・ネオルネサンス・ネオバロック建築					
	6月	仏教建築と神社、寝殿造・書院造・城郭建築 数寄屋造り、民家と町屋					
	7月	明治建築と昭和モダニズム 現代建築					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科		学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築環境		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数		30
担当教員	北崎 勝弘		使用テキスト	基礎講座 建築環境工学 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上					
授業概要 および 学習目標	外部気候・室内環境・都市環境・人間工学について学ぶ。デザインや計画の根幹であり、物事の成り立ちが自然環境と切っても切れない関係である事を学ぶ。					
授業計画	4月	建築環境の概要、風土と建築、気温・湿度				
	5月	風・雨・雪、室内気候				
	6月	伝熱、断熱、蓄熱・熱容量、結露				
	7月	換気、通風、日照と日射、日影				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	採光、照明、色彩				
	11月	音環境、遮音と吸音、騒音と振動、室内音響				
	12月	都市の熱環境・空気環境・光環境・音環境・水環境				
	1月	人体寸法と作業寸法、キッチン・サニタリーの計画 家具の寸法、高齢者、障害者の配慮				
2月						
3月						
成績評価	中間試験、期末試験による					
その他						

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科		学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築設備		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数		30
担当教員	北崎 勝弘		使用テキスト	基礎講座 建築設備 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上					
授業概要 および 学習目標	主に空調・給排水衛生・電気設備について学ぶ。建築や家具に付随する物であるが、より深い理解の下に、調和した設備計画が出来るようにする。					
授業計画	4月	給排水衛生設備(上下水道、浄化槽設備、給水設備)				
	5月	給排水衛生設備(給水設備、排水通気設備)				
	6月	給排水衛生設備(衛生器具設備)				
	7月	給排水衛生設備(消火設備、ガス設備 排水再利用・雨水・ごみ処理設備)				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	空気調和設備(空調機器、熱源機器、空調負荷)				
	11月	空気調和設備(暖房、配管、ダクト、換気・排煙)				
	12月	電気設備(受変電動力設備、照明設備、弱電火災報知機設備)				
	1月	消防設備 輸送・搬送設備				
	2月					
	3月					
成績評価	中間試験、期末試験による					
その他						

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	構造力学			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数		90	
担当教員	小酒 正明		使用テキスト		図説 やさしい構造力学 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験4年 教員歴40年						
授業概要 および 学習目標	建築学科の基礎科目の一つとして、構造力学を学ぶための工学的意味を理解し、力の概念、力のつり合いを中心に学ぶ。さらに、静定ばりの支点、反力や断面力について学ぶ。						
授業計画	4月	力とは・力のモーメント・合力・分布荷重・力の釣り合い					
	5月	・単純梁の反力・片持梁の反力・張り出し梁の反力・ラーメンの反力					
	6月	・部材に生じる力について・単純梁に生じる力・片持梁に生じる力					
	7月	・せん断力図・曲げモーメント図					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	・トラス・図心・断面2次モーメント・断面係数					
	11月	・軸応力度・曲げ応力度・せん断応力度・曲げ応力度					
	12月	・許容曲げモーメント・曲げ応力度と圧縮応力度・座屈					
	1月	・たわみ・不静定構造物・塑性解析について・弾性と塑性 ・保有水平耐力について					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	構造力学演習			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	胡桃 英章		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験20年以上						
授業概要 および 学習目標	構造力学の理解力を深めるために、多くの演習問題を解き理解定着を目指す。						
授業計画	4月	・力の釣り合い・判別式・片持梁の反力, せん断力図, モーメント図の算出					
	5月	・単純梁の反力, せん断力図, モーメント図の算出 ・はね出し梁, ゲルバー梁の反力, せん断力図, モーメント図の算出					
	6月	・静定ラーメンの反力, せん断力図, モーメント図の算出 ・スリーヒンジラーメンの反力, せん断力図, モーメント図の算出					
	7月	・トラス構造の解析(節点法, 切断法) ・静定構造物融合(合成骨組等)					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	・断面の性質(断面一次モーメント, 断面二次モーメント)					
	11月	・断面の性質(断面係数, 断面二次半径, 有効細長比の算出)					
	12月	・応力度・座屈・ひずみ・たわみ					
	1月	・不静定梁の反力の算出					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築一般構造			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	小酒 正明		使用テキスト		図説 やさしい建築一般構造 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験4年 教員歴40年						
授業概要 および 学習目標	建築の構造的な成立ちのすべての教科の基礎としてとらえ、前期は木構造、外内部の仕上げや建具などの基本構成、和室や洋室等の構造を学ぶ。後期はRC造、S造、ブロック造、屋根、外壁等の構造、納まりについて学ぶ。						
授業計画	4月	木構造 特徴、構造形式、規格と加工品 軸組構法 構成、接合、基礎、軸組					
	5月	木構造 軸組構法 小屋組、床組、階段 枠組壁構法・大断面集成材					
	6月	内壁 軸組と下地、塗壁、張壁 天井 棹縁天井、目透張り、板張り天井					
	7月	床 板張り床、敷き床、タイル張り床、塗床、張付床 和室と洋室、床の間 縁側 収納空間、階段、開口部の納まり					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	RC構造 原理と特徴、構造形式、構造計画 配筋 基礎 柱 梁 スラブ 階段 壁					
	11月	S構造 特徴、構造形式、構造計画、接合、梁、柱 基礎、床、階段、耐火被覆					
	12月	鉄骨鉄筋コンクリート構造、その他の鉄骨構造補強 コンクリートブロック構造、プレストレストコンクリート構造					
	1月	防水、屋根軒天井、庇、樋、外壁					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	木構造			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	8	週または年コマ数			120
担当教員	高木 功介		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	木造の伏図、軸組図、構造模型により木造の基本的なしくみを学ぶ。 構造を考慮した上で、住宅のプランニング、実施設計図書の作成する。 構造図の作成及び、構造模型の制作により意匠と構造の関係を学ぶ。						
授業計画	4月	2階建て住宅 基礎伏図 1:50 1階床伏図 1:50 2階床伏図 1:50					
	5月	2階建て住宅 小屋伏図 1:50 筋違い計算 軸組図 1:50 構造模型					
	6月	2階建て住宅 自由プラン					
	7月	2階建て住宅 平面詳細図 1:50 断面詳細図 1:50 立面図 1:100					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	2階建て住宅 展開図 1:50 建具表 1:50					
	11月	2階建て住宅 自由プラン 配置平面図 1:100 面積表					
	12月	2階建て住宅 基礎伏図 1階床伏図 2階床伏図 1:50 小屋伏図 軸組図 1:50 筋違い計算					
	1月	2階建て住宅 構造模型 1:50					
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	構造設計			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			30
担当教員	川端 大雅		使用テキスト		図説 やさしい構造設計 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造について、比較的小規模で標準的な平面、立面を有する建物を対象に、建築基準法・同施行令及び関連法規、建築学会等の基準、指針等に従い構造計算を行うことにより、構造設計の基本的な考え方、進め方を理解する。						
授業計画	4月	・構造設計とその考え方 ・構造計画・荷重について ・2次設計について・荷重計算					
	5月	・荷重、剛比の計算・スラブ、小梁の設計 ・鉛直荷重時C, Mo、Qo、柱軸方向力の算定(S)					
	6月	・水平荷重時応力の算定、応力図 ・大梁の断面算定・柱の断面算定・二次設計(S)					
	7月	・構造図					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	・荷重計算・スラブ、小梁の設計・剛比の計算 ・鉛直荷重時の大梁C、Mo、Qoの算定・柱軸方向力の算定(RC)					
	11月	・地震力の算定・鉛直荷重時応力の算定 固定モーメント法・鉛直荷重時応力図・D値及び反曲点高比の計算 D値法(RC)					
	12月	・層間変形角、剛性率、偏心率の検討 ・水平荷重時応力図・大梁の設計・柱の設計(RC)					
	1月	・構造図(RC)					
	2月						
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築材料			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	北崎 勝弘		使用テキスト		図説 建築材料 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	前期は、構造材としての材料をよく理解し、強度、耐久性、経済性、安全性等を総合的に判断できるようにする。後期は仕上げ材を中心に材料の特性や品質管理、寸法等を理解することにより建築の施工や設計に際し材料選択について適格に判断できるようにする。						
授業計画	4月	材料について コンクリート					
	5月	コンクリート					
	6月	鋼材					
	7月	防水、耐火、断熱、防音材料					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	木材					
	11月	金属 タイル レンガ					
	12月	ガラス・石材・左官・吹付材料 畳、繊維製品					
	1月	塗料・セメント系材料 プラスチック、接着剤					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科		学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築施工 I		授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数		30
担当教員	小酒 正明		使用テキスト	初学者の建築講座 建築施工 市ヶ谷出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験4年 教員歴40年					
授業概要 および 学習目標	施工がどのように行われているかを把握していないと設計も出来ないし良いのものも作れない。又、適切な管理を行い良質な物を作らねばならない。工事の流れを把握し適切に管理しなければならない。その使命感の元に知識を得る。					
授業計画	4月	建築生産とその過程、設計・施工形態、選択・工事契約の方式				
	5月	工事請負契約・見積と積算、工事監理と工事管理 着工、施工計画				
	6月	品質、原価、工程管理、安全衛生、環境管理管理				
	7月	着工準備・材料の保管・完成引渡し、アフターケア				
	8月	夏季休暇				
	9月	夏季休暇				
	10月	共通仮設工事・直接仮設工事、準備工事、土工事、地業工事				
	11月	鉄筋工事・型枠工事・コンクリート工事				
	12月	鉄骨工事				
	1月	屋根防水工事・仕上げ工事・設備工事				
	2月					
	3月					
成績評価	中間試験、期末試験による					
その他						

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	建築施工Ⅱ			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	小酒 正明		使用テキスト		初学者の建築講座 建築施工 市ヶ谷出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験4年 教員歴40年						
授業概要 および 学習目標	各工事種別毎に基礎的理解を深め、又、より深い知識を得る。						
授 業 計 画	4月	施工計画・施工管理・工事準備・仮設工事					
	5月	土工事・地業工事・基礎工事					
	6月	鉄筋工事					
	7月	型枠工事					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	コンクリート工事					
	11月	鉄骨工事					
	12月	組積工事・木工事・防水工事					
	1月	左官工事・タイル工事・塗装工事・その他工事					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	建築積算			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	小酒 正明		使用テキスト		初めての建築積算 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験4年 教員歴40年						
授業概要 および 学習目標	建物の設計、施工において、その価格を把握する事は必要不可欠な事である。その為にも基礎から仕上までの積算の仕方(特に数量のひらいだし)を演習を中心として学習していく。						
授業計画	4月	積算の基本・躯体の積算(土工事)					
	5月	躯体の積算(コンクリート工事)					
	6月	躯体の積算(型枠工事)					
	7月	躯体の積算(鉄筋工事)					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	住宅の積算(基礎工事)					
	11月	住宅の積算(仮設工事)					
	12月	住宅の積算(内装工事)					
	1月	住宅の積算(木工事)					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	建築法規基礎			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	高木 功介		使用テキスト		超入門 建築基準法 市ヶ谷出版社		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	住宅などを設計するにあたり、最低限、知っておかなければならない建築にかかわる法的な知識を習得する。						
授業計画	4月	建築基準法について、用語の定義					
	5月	面積、高さ、設計と監理、手続き					
	6月	採光、換気、排煙					
	7月	換気設備、シックハウス対策、居室の天井高さ、床高さ					
	8月						
	9月						
	10月	界壁、階段、建築設備、敷地と道路、用途地域					
	11月	容積率、建蔽率					
	12月	高さ制限、日影規制					
	1月	防火、準防火地域、22条区域					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科	学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	建築法規	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数	60
担当教員	胡桃 英章	使用テキスト	2級建築士学科法規テキスト 建築資料研究社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験20年以上				
授業概要 および 学習目標	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する安全上、防火上、衛生上の最低限度必要な基準を学ぶ。 また、品確法やハートビル法など国民や社会から要求されている新しい知識を身につける。				
授業計画	4月	法令用語、用語の定義、面積・高さの算定方法 階数、法令構成、構造規定			
	5月	構造方法、木造関係規定、壁量計算 演習組積造、CB造、鉄骨造、RC造、			
	6月	構造計算、耐火・準耐火構造、耐火・準耐火建築物 耐火建築物の義務付、準防火・防火地域			
	7月	防火区画、木造の防火壁、避難施設排煙設備、非常用照明 非常用進入口、内装制限、界壁、非常用EV			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	採光、採光演習、遮音、換気、シックハウス、便所、設備、			
	11月	道路と敷地、用途地域 建ぺい率、容積率			
	12月	斜線制限、住居専用地域の特則、天空率、日影規制 手続き、建築確認、建築許可等			
	1月	工作物、工事現場の安全、ハートビル法、消防法 民法、品確法、都市計画法 建築士法、建設業法			
	2月				
	3月				
成績評価	中間試験、期末試験による				
その他					

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	測量			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	尾山 清光		使用テキスト		図説 建築測量 産業図書		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	建物の計画、建設において先ず行わねばならないのが敷地及び、その周囲の調査測量であり、工事測量である。その基本となる三角測量、平板測量、トランシット測量、水準測量の基礎的知識、技術を演習と実習を中心として修得させる。						
授業計画	4月	測量の歴史、分類 三角測量 演習、敷地求積表					
	5月	視板アリダードによる高低測量演習 三角測量 実習及び作図					
	6月	平板測量 実習及び作図					
	7月	トランシット、レベルの整準実習 水準測量 野帳(器高式)演習					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	バーニヤ演習 トランシット測量 角度の読み、据付					
	11月	トランシット測量 実習及び作図					
	12月	ラジアン、三角関数 トラバース 方位、方位角					
	1月	トラバース 緯距、経距、倍横距、倍面積					
	2月						
	3月						
成績評価	中間試験、期末試験、実習試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	デザイン史			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	西 和人		使用テキスト		カラー版図説 デザインの歴史 学芸出版社		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験15年以上						
授業概要 および 学習目標	デザインの歴史を学ぶことにより、新たな技術や社会情勢の中でデザインの役割を考え、これから、どのようなデザインをすべきか考察する。						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	産業革命と万国博 モリス商会 アールヌーボー					
	11月	ウィーン分離派 バウハウス デ・ステイル アールデコ					
	12月	フランク・ロイド・ライト ル・コルビジェ					
	1月	ミース・ファン・デル・ローエ 安藤忠雄					
	2月						
3月							
成績評価	中間試験、期末試験による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	Jw-cad			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	高木 功介		使用テキスト		いますぐできるフリーソフトJw_cad8 (株) エクスナレッジ		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	現在需要の多いCADでの設計製図の基礎として、フリーソフトのJW-CADを修得し、今後の設計の授業などに役立てる様にする。						
授業計画	4月	データーのコピー・レイヤ、グループについて コマンドの説明 マウスの説明					
	5月	コマンドの操作の実践					
	6月	コマンドの操作の実践					
	7月	コマンドの操作の実践					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	コマンドの操作の実践					
	11月	コマンドの操作の実践					
	12月	コマンドの操作の実践					
	1月	コマンドの操作の実践					
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	住空間			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	3	週または年コマ数			45
担当教員	大谷 治代		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 インテリアコーディネーター 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	パースを中心とした、住宅に関するプレゼンテーションを学ぶ。家具パース、内観、外観パース、平面図の着彩テクニックなどマーカーや色鉛筆やアクリルを使ってパースを仕上げる。						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	課題1 一戸建 増改築プラン					
	11月	課題1 一戸建 増改築プラン パース・インテリア決め プレゼンボード作成					
	12月	課題2 一戸建 プラン					
	1月	課題2 一戸建 プラン パース・インテリア決め プレゼンボード作成					
2月							
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	商空間			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	3	週または年コマ数			45
担当教員	大谷 治代		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 インテリアコーディネーター 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	飲食店、物販店のデザインをし、コンセプトづくりから、素材の選択、ビジュアルデザインまで総合的にデザインをまとめる。						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	課題1 テナントビルに設置する飲食店舗					
	11月	課題1 テナントビルに設置する飲食店舗 パース・インテリア決め プレゼンボード作成					
	12月	課題2 商店街の2階建て物販店舗					
	1月	課題2 商店街の2階建て物販店舗 パース・インテリア決め プレゼンボード作成					
2月							
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	造形演習			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	加藤 則子		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	造形の基本を、線・面・立体・空間へと広げながら演習を通して学ぶ。リズム、バランス、プロポーションをふまえて、多様な造形や空間構成を身につけ「観る・感じる・考える」力も養う。建築空間を想像しながら立体構成を行い建築の内と外を想定しながら、また光と空間の美しさを感じながら制作する。						
授業計画	4月	●自由な曲線 ●直線と曲線レリーフ(抽象・余白・非対称)					
	5月	●群れのデザイン (平面・繰り返しのリズム) (立体・動きあるカタチの意味)					
	6月	●1枚の板から椅子 (面の構成、用強美のデザイン) (図面とスケッチ)					
	7月	●塊の組み合わせ (基本の幾何学形) (足す・引く・かみ合うカタチ)					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	●カタチと素材のデータファイル ●クレーの仕上げとスケッチ					
	11月	●比例の立体 (黄金比・√矩形・畳比整数比)					
	12月	●開くカタチ・つながるカタチ (カタチの意味を考える)					
	1月	●キューブのデザイン (表層・内部＋間接光)					
	2月						
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	デッサン			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	小西 美樹子		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	物を見る力を育て、発想・構成・描写観察力を伸ばす。						
授業計画	4月	鉛筆デッサンによる材料の説明と単純な構成を描く。 グラデーション					
	5月	鉛筆デッサン	立体を描く、形をとる。				
		鉛筆デッサン	屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	6月	鉛筆デッサン	立体を描く、形をとる。				
		鉛筆デッサン	屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	7月	鉛筆デッサン	立体を描く、形をとる。				
		鉛筆デッサン	屋外スケッチ、実際の風景を透視図を意識して描く				
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	鉛筆デッサン	静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。				
		鉛筆デッサン	個々の見方での表現をめざす。				
11月	鉛筆デッサン	静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。					
	鉛筆デッサン	個々の見方での表現をめざす。					
12月	鉛筆デッサン	静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。					
	鉛筆デッサン	個々の見方での表現をめざす。					
1月	鉛筆デッサン	静物デッサン、質感・量感を捉えて描く。					
	鉛筆デッサン	個々の見方での表現をめざす。					
2月							
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	プレゼンテーション			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	白井 慎太郎		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	PowerPointによるプレゼンテーション技術の基本となる操作方法学びます。また、設計の課題と並行させた授業を行い、より設計課題のプレゼンテーションに活かせる技術を身につけます。						
授業計画	4月	パワーポイントの使い方 自己紹介スライド作り プレゼン					
	5月	出身地の紹介(調査、データー収集、パワーポイント製作) プレゼン					
	6月	住宅会社の紹介(調査、データー収集、パワーポイント製作) プレゼン					
	7月	建築家の紹介(調査、データー収集、パワーポイント製作) プレゼン					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	設計課題のプレゼン					
	11月	設計課題のプレゼン					
	12月	設計課題のプレゼン					
	1月	進級設計のプレゼン					
	2月						
3月							
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	ビジネストレーニング			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	2	週または年コマ数			30
担当教員	掛場 泰行		使用テキスト		ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト 2025年度版 日本能率協会マネジメントセンター		
担当教員 実務経験概要	実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	「ビジネス社会に関する全体像の把握と実務に即した知識・技術の向上」が求められています。こういった社会情勢を踏まえ、学生の就職活動の支援とビジネス能力のレベルアップ、またビジネス社会における有為な人材となることを目標とします。						
授業計画	4月	企業人になるにあたって・豊かな仕事生活 会社のルールと勤務条件					
	5月	仕事に関する基本姿勢・仕事への取り組み 指示・報告と連絡・相談・仕事へのPC活用					
	6月	ビジネス文書の基本					
	7月	社内文書の種類と役割 表とグラフ					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	業種・業界知識の基本・会社の仕組みと組織 社会保険と税金					
	11月	ビジネス用語の基本・職場の人間関係 就業中のマナー					
	12月	服装と身だしなみ・話し方の基本・電話対応、来客対応 言葉づかい、話の聞き方と指示・命令の受け方					
	1月	名刺交換と面談の基本マナー・部外への対応 消費者トラブル					
	2月						
	3月						
成績評価	ビジネス検定3級の資格を取得する。						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科	学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	ビジネスセミナー	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	1	週または年コマ数	15
担当教員	招待講師	使用テキスト			
担当教員 実務経験概要					
授業概要 および 学習目標	各業界にて活躍する先輩などを招いて苦労話や学校の生活についてのアドバイスなどの話を聞く。				
授業計画	1回	意匠設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。			
	2回	構造設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。			
	3回	生産設計の仕事について講師を招いて説明を受ける。			
	4回	住宅会社の仕事について講師を招いて説明を受ける。			
	5回	建設会社の仕事について講師を招いて説明を受ける。			
成績評価	レポート提出による。				
その他	不定期 5日×3時間				

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	1	科目区分	必修・選択
科目名	3D造形			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数		90	
担当教員	酒井 知代		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	造形的な観点から設計を行い、スケッチアップを用いて表現する。						
授業計画	4月	引き算の造形、足し算の造形					
	5月	内観の造形					
	6月	路地空間の造形					
	7月	広場の造形					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	階段の造形、カフェの造形					
	11月	緑地の造形					
	12月	夜景					
	1月	アニメーション					
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	インテリア設計			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	大谷 治代		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	二級建築士 インテリアコーディネーター 実務経験30年以上						
授業概要 および 学習目標	後期に行う住空間、商空間の実習の基礎としてインテリア設計士の受験を通してインテリアの知識、作図を学ぶ。						
授業計画	4月	インテリアの基礎知識					
	5月	インテリアの基礎知識					
	6月	インテリア設計の作図					
	7月	インテリア設計の作図およびインテリア設計士試験受験					
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術高等学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	3D設計			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数			60
担当教員	吉村 寿博 山越 衛		使用テキスト		7日でおぼえるArchicad (株)エクスナレッジ		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験20年以上						
授業概要 および 学習目標	アーキキャド、スケッチアップの基本操作を習得し、規定時間内に基本図面を作図できることを目的とする。						
授業計画	4月	データーのコピー・レイヤ、グループについて コマンドの説明 マウスの説明					
	5月	コマンドの操作の実践					
	6月	コマンドの操作の実践					
	7月	3D・CADを使った設計課題					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	3D・CADを使った設計課題					
	11月	3D・CADを使った設計課題					
	12月	3D・CADを使った設計課題					
	1月	3D・CADを使った設計課題					
	2月						
	3月						
成績評価	課題提出による						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科	学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	住空間デザイン	授業形態	講義・演習・実習		
開講期	前期・後期・通年	単位	4	週または年コマ数	60
担当教員	村梶 招子	使用テキスト	配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験15年以上				
授業概要 および 学習目標	代表的な建築物のトレース、模型製作を行い建築家の思想を学ぶ。				
授業計画	4月	手塚建築研究所の建築			
	5月	手塚建築研究所の建築			
	6月	吉村順三の建築			
	7月	吉村順三の建築			
	8月	夏季休暇			
	9月	夏季休暇			
	10月	コルビジエの建築			
	11月	研究テーマに選んだ建築			
	12月	研究テーマに選んだ建築			
	1月	研究テーマに選んだ建築			
	2月				
	3月				
成績評価	課題提出による				
その他					

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	建築学科			学年	2	科目区分	必修・選択
科目名	卒業設計			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	前期・後期・通年	単位	6	週または年コマ数			90
担当教員	久坂 和之 松田 一希 山越 衛		使用テキスト		配布資料による		
担当教員 実務経験概要	一級建築士 実務経験40年以上						
授業概要 および 学習目標	各自、テーマを決めて2年間の総まとめとなる作品を作る。敷地や用途などを設定し問題点を考えて社会に提案する。						
授業計画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	短期集中設計 課題 道の駅					
	11月	卒業設計					
	12月	〃					
	1月	〃					
	2月						
	3月						
成績評価	金沢市民芸術村にてプレゼンを行い審査する。						
その他							